

令和3年度(2021年度)

管理事業名	休日急病診療所事業			総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 4 健康・医療のまちづくり 施策 3 地域医療体制の充実
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 8 休日急病診療所費
部局名	健康医療部	予算執行所属	健康まちづくり室休日急病診療所 (健康まちづくり室)		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要 【目的】 日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始の昼間における応急的な医療を市民に提供します。 【概要】 吹田市立休日急病診療所を運営し、内科、小児科、外科、歯科の4診療科の診療を行います。なお、令和2年度から吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会に診療所運営業務を委託しています。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
受診者数	人	7,009	2,294	2,909	休日急病診療所を受診した延べ患者数
成果の説明	令和3年度は年間延べ2,909人の救急患者に対する診療業務を行い、休日等の初期救急医療の確保に努めました。患者数は令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の影響による受診抑制等もあり大幅に減少しましたが、令和3年度は令和2年度に比べ増加しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	60,934	21,450	29,572	8,122
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	67,000	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	74	1,322	1,557	235
経常収入 小計(a)	128,007	22,772	31,129	8,357
給与関係費	86,035	16,724	16,382	△342
物件費	16,808	114,422	113,594	△828
維持補修費	31,547	418	150	△268
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	124	9	-	△9
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	6,122	13,921	14,054	133
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,976	1,315	1,159	△156
退職手当引当金繰入額	479	△5,648	712	6,360
支払利息	-	265	322	57
その他	-	81	-	△81
経常費用 小計(b)	143,092	141,506	146,374	4,868
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△15,085	△118,734	△115,245	3,489
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	294,425	-	-	-
特別収入 小計(d)	294,425	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	294,425	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	279,340	△118,734	△115,245	3,489
一般財源充当額	66,039	114,953	105,347	△9,606
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	345,379	△3,781	△9,898	△6,117

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	令和3年度は患者数の増加等もあり収入が8,122千円増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	128,007	22,772	31,129	8,357
行政サービス活動支出	138,213	134,982	132,741	△2,241
行政サービス活動収支差額	△10,206	△112,210	△101,612	10,598
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	164,133	2,743	-	△2,743
投資活動収支差額	△164,133	△2,743	-	2,743
財務活動収入	108,300	-	-	-
財務活動支出	-	-	3,735	3,735
財務活動収支差額	108,300	-	△3,735	△3,735
収支差額 合計	△66,039	△114,953	△105,347	9,606
一般財源充当額	66,039	114,953	105,347	△9,606
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 休日急病診療所使用料 29,572千円
----------	-------------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
受診者1人あたりのコスト	令和元年度	7,009 人	20,415 円	各年度の受診者数で算出し、令和3年度は受診者1人当たり50,317円のコストがかかっています。前年度と比較し受診者数の微増により、1人あたりのコストが減少しました。
	令和2年度	2,294 人	61,685 円	
	令和3年度	2,909 人	50,317 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,049	4,893	△156
未収金	-	-	-	地方債	3,735	3,734	△0
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,315	1,159	△156
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	691,007	679,334	△11,673	その他流動負債	-	-	-
事業用資産				固定負債	116,430	112,430	△4,000
土地	411,876	411,876	-	地方債	104,565	100,831	△3,734
建物・工作物	279,131	267,458	△11,673	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	11,865	11,599	△266
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	240	240	-	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産				負債の部合計	121,480	117,323	△4,156
有形固定資産	-	-	-	純資産	583,041	573,143	△9,898
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	13,274	10,893	△2,381	純資産の部合計	583,041	573,143	△9,898
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	704,521	690,467	△14,054
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	704,521	690,467	△14,054				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

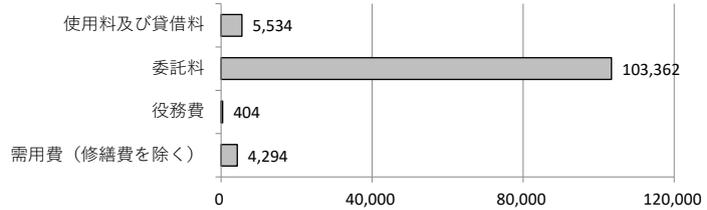
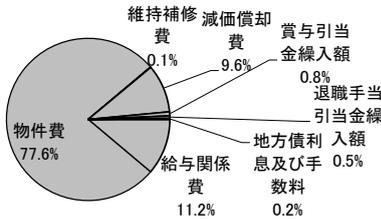
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	2人	日	12日	18,253
給与関係費等	16,813千円	千円	1,440千円	
内、時間外勤務手当	722千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 建物・工作物	吹田市立休日急病診療所(建物)の減価償却による11,673千円の減
重要物品	レントゲン機器など重要物品の減価償却による2,381千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立休日急病診療所
取得年月日	平成27年(2015年)2月4日
建物・工作物の取得価額	302,431 千円
建物・工作物の減価償却累計額	34,973 千円
利用料金収入	29,572 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		10.4	0.1	0.0	△0.1
施設老朽化比率		3.8	7.7	11.6	3.9
受益者負担比率		42.6	15.2	20.2	5.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		21.8	83.5	77.2	△6.3
経常費用対公共資産比率		47.3	46.8	48.4	1.6

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・経常収入31,129千円のうち、29,572千円は、受診者からの診療収入によるもので、経常収入の95.0%を占めています。
 ・受益者負担比率は、前年度は受診者数が大幅に減少したこともあり、15.2%と低くなっていましたが、令和3年度は20.2%と5.0%回復しました。
 ・経常費用146,374千円のうち、113,594千円は物件費で、主に医師、薬剤師、看護師などの出務手当等を含む診療業務運営委託料にかかるもので、経常費用全体の77.6%を占めています。
 ・経常収支の差額は一般財源を充当しており、一般財源充当比率は77.2%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業は、毎年、経常収支差額が発生し、差額は一般財源から充当していますが、診療収入は、インフルエンザの流行等の季節的要因に左右されるほか、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大下において、受診者数の回復による大幅な収入増が見込めないことから、今後も収支の改善は困難であると考えます。
 しかしながら、当診療所では、休日等の昼間における応急的な医療を提供する初期救急医療機関としての役割を担っており、市民の安心と健康を確保する上での重要な事業であるため、今後も継続して運営する必要があります。また、事業のより効率的運営を目指して、更なる事務の委託や改善に積極的に取り組むことが必要と考えています。